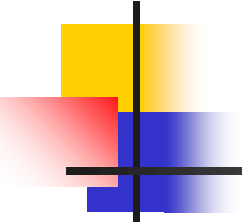


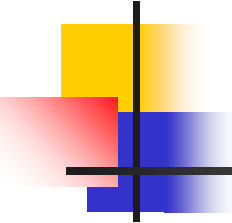
令和7年度 練馬区災害時医療救護体制に 関する活動報告



令和7年度の取組み

令和7年度における災害医療に関する取組事項

- (1) 医療救護所訓練の実施
- (2) 情報通信訓練の実施
(災害時医療機関・協定団体向け)
- (3) 安否確認システムの導入 **【新規】**
(医療救護所に参集する医療従事者向け)
- (4) 看護師向け災害医療講習会の実施
- (5) 医療救護所用品の追加・更新
(トランシーバー・備蓄医薬品用保冷庫)



医療救護所訓練の実施

以下のとおり、区内医療救護所（全10か所）のうち、2か所で医療救護所訓練を実施した。

実施日時

会場

参加人数

訓練内容

11月9日（日）
9時～12時

大泉西中学校
医療救護所

84名
（見学含む）

救護所設備見学
机上開設訓練
医療救護活動訓練

12月7日（日）
9時～12時

貫井中学校
医療救護所

65名
（見学含む）

- ・ トリアージ
- ・ 重症者処置
- ・ 患者搬送

医療救護所本部訓練等



▲救護所設備見学



▲机上開設訓練



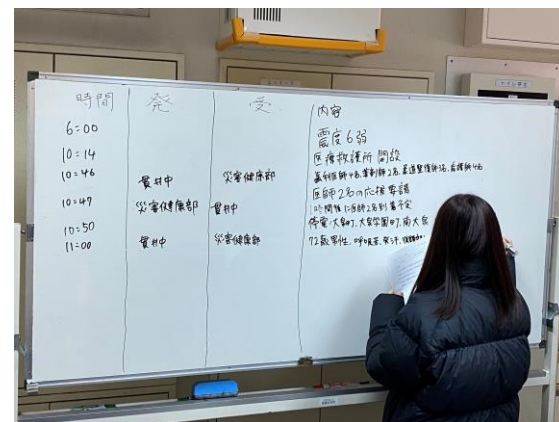
▲ トリアージ訓練



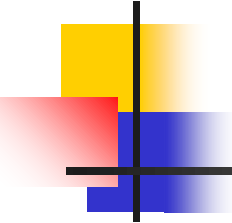
▲重症者処置訓練



▲患者搬送訓練



▲救護所本部訓練



情報通信訓練の実施

以下のとおり、災害時医療機関や協定団体を対象に、災害時に活用する連絡手段を用いた通信訓練を実施する。

■衛星携帯電話定期通信訓練

- ・対象 災害拠点病院、災害拠点連携医療機関、専門医療拠点病院、医師会
- ・回数 各団体で年２回

■LINE WORKS訓練

- ・対象 LINE WORKSに登録済みの災害時医療機関、協定団体
- ・回数 各団体で年２回

■情報共有訓練

- ・対象 LINE WORKSに未登録の災害時医療機関、協定団体
- ・回数 各団体で年２回
- ・訓練内容 LINE WORKS訓練の内容をメールやFAXにて回答

【新規事業】

安否確認システムの導入

医療救護所に参集する医療従事者向けの安否確認システムを令和7年9月より導入した。

■目的

- ・ 利用目的（安否・参集可否確認）に適したシステムの導入
- ・ 利用率および情報伝達率の向上

■対象

約400名程度

（四師会医療従事者、登録看護師）

■訓練

年2回の模擬回答訓練を実施

The left screenshot shows a mobile app interface with a status selection screen. It includes a header with a phone icon and the number 03-6690-8575. The main content area has a large empty space for a message, followed by a section titled '地震が発生しました。安否状況をお知らせください。' (An earthquake has occurred. Please report your status.) with a link to https://anpi.net/YPf41S. Below this is a button labeled 'タップしてプレビューを読み込む' (Tap to load preview). At the bottom, there is a note about the link preview feature and a row of icons for text, voice, and other communication methods.

The right screenshot shows a web browser interface for the Nerima City Office. The header includes the city logo and name '練馬区 Nerima city office'. Below this is a section titled 'test001 様' (Mr. test001). The main content area has two sections: '安否状況（本人）' (Status (Self)) with radio buttons for '無事' (Safe), '軽傷' (Minor injury), and '重傷' (Major injury); and '参集の可否' (Whether to collect) with radio buttons for '参集済み' (Collected), '参集可能' (Collectible), and '出社不可能' (Cannot go to work). There is also a section titled '連絡事項' (Contact information) with a large text area for notes.

▲安否確認システムの画面

看護師向け災害医療講習会の実施

医療救護所登録スタッフを中心とした看護師に対し、災害時医療に関する講習会を実施した。

■目的

災害時医療や救急医療の知識、経験が不足している
看護師の対応力向上

■研修日時・参加人数

令和7年10月5日（日）13時30分～16時30分
25名

■講師

順天堂大学医学部附属練馬病院（医師、看護師など）

■主な講習内容

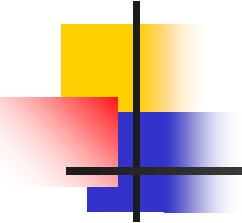
災害時医療の基礎講義、避難所における看護師の役割、
トリアージ・トランシーバー実習 など



▲トリアージタグ記入訓練



▲トランシーバー通信実習



医療救護所用品の追加・更新

医療救護所訓練や災害医療に関する会議体での指摘等を踏まえて、医療救護所用品を追加・更新した。

用品名

追加・更新時期

課題

トランシーバー
【新規追加】

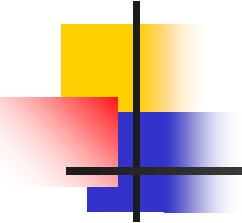
令和8年3月
追加済

- ・医療救護所内での連絡手段がない
⇒救護所本部や各医療救護活動エリアのリーダー分の台数を購入

備蓄医薬品用
保冷库
【更新】

令和8年3月
更新済

- ・夏の高温は室温保管している医薬品の品質に影響を及ぼす懸念がある
⇒温度管理を徹底するため、現行の保冷库の約2倍の容積のものに更新



区市町村災害医療確保計画(基礎資料)

■主な変更点

Ⅱ 医療機関

(3) 災害時医療支援病院

・ 病院数の増 **16**か所 ⇒ **18**か所

Ⅳ 緊急医療救護所・避難所医療救護所・避難所

二次避難所(福祉避難所)数等

・ 福祉避難所数の増 **49**か所 ⇒ **59**か所